

# 公私連携による両キッズランドの運営にかかる 未就園児保護者の皆さんとの座談会記録（子育て座談会）

平成28年6月30日（木）10:00～11:30

場所：教育委員会会議室

普段、子育てふれあいセンターを利用して、これからキッズランドやこども園に通う予定の未就園児保護者の皆さんとの座談会を開催した。

出席者：14名

事務局：岸原教育長、こども未来課 今中、市位

内容：教育長あいさつ

こども未来課から資料による説明

質疑応答・意見交換

## ■主な意見と内容

- ・法人の決定はどのようにされるのか。かみもやちよも同じ法人になるのか。  
→町内の社会福祉法人で、保育所や認定こども園などの運営実績のある法人にお願いしたいと考えている。公募を行い、選定委員会で決めたいと思う。選定委員会の結果により、両園とも同じ法人になる場合もあるし、違う法人になる場合もある。
- ・中区と加美区の小学校の統合計画は。  
→複式学級ができることが分かった段階で「地域の学校教育のあり方を考える会」を設置し、検討をしていくことになる。当分の間は、複式学級ができることはないので、今のところ予定はない。
- ・第一希望の園に入ることが可能か。  
→入園希望を第1～第3希望まで記入していただいているが、これまではほぼ皆さんに第一希望の園に入園していただいている。ただ、中区内の3園については3～5歳児の定員が各35人となっているので、途中入所が厳しい場合もある。
- ・都市部の民間園では英語教育や音楽教育、体操指導など特色ある保育をされているところがあるが、特色ある教育についてどう考えるか。  
→年齢ごとの教育・保育カリキュラムのほかに、特色ある教育プログラムを取り入れることは良いことだと考えている。法人選定の際には、選定委員会でそういった部分を十分に考慮して決めていきたい。
- ・近いうちに中学校が一つになるという噂を聞くが、どうなのか。  
→学年のクラスが1学級になることが分かった段階で「地域の学校教育のあり方を考える会」を立ち上げて、地域の皆さんと一緒に検討していくことになる。
- ・旧中町幼稚園の園庭は開放されているのか。誰が使ってもよいのか。  
→保護者の立会いのもとであれば、どんどん使っていただけたらよい。今後、遊具の安全点検を行う予定なので、保護者の責任のうえで安全に注意してお使いいただきたい。
- ・経済的なことを考慮して、もっと早くに小学校の統合をできないのか。  
→地域に根ざした学校運営を実施しているので、複式学級ができる出ることが分かった段階で「地域の学校教育のあり方を考える会」を立ち上げ、保護者や地域の皆さんと協議を進めていくことになる。
- ・幼稚園の保育料は、8歳までの範囲で子どもがたくさんいる場合、2人目の子は半額、3人目は無料だが、8歳の年齢を引き上げられないか。  
→国の政策で決まっていることなので、全国どの自治体も同じことになる。国の施策以外の部分で、多可町の保育料軽減のあり方を検討したいと考えている。

・民営化によって浮いた町のお金はどのように使うのか。また法人の利益について町はどのように指導するのか。

→5歳児の保育料無償化や4歳児の保育料無償化などを含めて、今後、多可町子ども・子育て会議で検討していきたいと考えている。また、法人に対しては、利益の出た部分は保育士の処遇改善、特色ある教育・保育にしっかりお金を回していただくように指導していきたい。

・上の子のキッズランドかみ制服があるが、民営化になっても使えるか。

→保護者の皆さんの声を大切にしていきたいと考えている。そのような意見があれば、三者懇談会（保護者、町、法人）で協議し、できるだけ保護者の負担が増えないようにしていきたい。

・民営化の判断は、どのようにされるのか。

→地域や保護者の皆さんとの懇談会、またこれからキッズランドや認定こども園に通っていただく児童の保護者の皆さんとの懇談会など、いま皆さんからご意見をいろいろいただいているところである。今後、多可町子ども・子育て会議で協議し、最終判断は町議会の決定になる。

・子どもの数がどんどん減ってきているが、町として子育て政策はどのように考えているか。

→このまま人口減少が進めば2060年に9,600人まで減ってしまう予定であるが、なんとか人口減少を食い止め12,300人くらいに留まるようにしたいと多可町プラチナ戦略を作成したところである。仕事、雇用の問題はもちろん、とにかく若い人たちに多可町に住んでいただき子育てしていただきやすいような施策を考えていかなければならないと思う。子育て支援の部分については、保育料の軽減策などを含め、今後、子ども・子育て会議で協議していく。

・キッズランドの正職員のなかに、評判の悪い先生がいる。園に残らないようにしてもらえるのか。

→正職員は1~2名は数年間は町からの派遣としてこども園に残る計画であるが、数年後には全員が抜けてしまうことになると考えている。でも、嘱託職員の皆さんにはこども園の職員として残っていただきたいと考えているので、ほとんどの先生が残ることになると思う。

・町内の法人と話はされているのか。仮に宗教色の強い法人が受けることになった場合、どのように町は関与されるのか。

→町内の法人とは、どこも話を進めていることはない。どこが受けていただけるかも分からないが、できるだけ町内の法人に受けていただけるような条件を考えたいと思う。公私連携方式で認定こども園を運営する予定で、しかも最初の数年間は公立から園長を派遣したいと考えているので、しっかり指導をしていきたい。公私連携なので、強い宗教色を出さないように指導していく。

（教育長から）

・公立と民間の運営について、公立でないとダメなのか、民間のほうがいいのか、皆さんはどのようにお考えか。

→自宅から近いところが安心できるので、公立、民間にはこだわらない。

→自宅からの近さ、安い保育料、園の雰囲気的大事なので、公立、民間は関係ない。民営化になっても、教育委員会からしっかり指導してほしい。

→公立、民間にはそれぞれ良さがあるので、どちらが良いとは言えない。公立園には甘さがあり、民間園が良いかもしれない。職員の意識改革が大切なので、公立・民間にかかわらずしっかり指導してほしい。

→自宅からの近さ、保育料、子どもが喜んでいく園であれば、公立、民間は関係ない。

→中区内のこども園のように、スポーツ講師を招いて運動教室みたいなことをぜひやっていただきたい。

- 自宅からの近さ、保育料が大事。公立、民間にはこだわらない。
- 自宅からの近さ、保育料が大事。公立、民間にはこだわらない。公と民の良いところを織り交ぜながら、良い園づくりをしてほしい。
- 公でも民でも OK。通いやすく、のびのびと保育してもらい、近い園に入りたい。
- 安全・安心な園、楽しく通える園、近くに行ける園であれば、公立、民間は関係ない。
- 公立、民間、どちらでもよい。親同士のコミュニケーションが取りやすい園がよい。一気に先生が入れ替わることをないようにしてほしい。また、年度によって保育料が高くなったり、安くなったりすることのないようにしてほしい。
- まだ子どもが1人目で小さいので、よく分からない。先輩の皆さんの話を聞いて判断していきたい。
- 公立でも民間でも、あまり関係なし。これまでキッズランドで行ってきたお出かけ保育や行事などは引き継いでもらいたい。